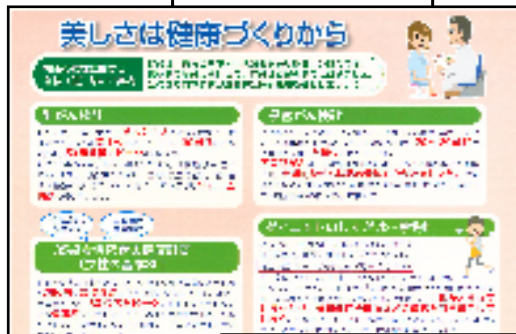


	対策の視点	長期目標 平成22～26年度	今年度の進捗状況	次年度予定・課題
<p>●がんの予防と啓発</p>	<p>○タバコ対策の推進 ○生涯を通じた生活習慣病予防の推進</p>	<p>1 関連事業（がん検診、健康増進事業等）との連携による効率的な予防啓発のシステムづくり 2 禁煙支援環境の整備 3 受動喫煙を防止する環境づくり</p>	<p>1 小中学校での普及啓発(柏市ノースモッ子作戦出張講座)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校9校，中学校4校(今年度15校予定) 3月に2校実施予定</li> <li>・小学4年から中学3年を対象に各学年にあわせた「柏ノースモッ子新聞」を発行</li> <li>・養護教諭研修会にてタバコ対策について説明</li> </ul> <p>2 母子保健事業でのタバコ対策に関する普及啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・妊娠届出書及び幼児健診（1歳6か月児・3歳児）問診票で保護者の喫煙状況を確認し，喫煙者にはリーフレットを配布している。その他母親・両親学級にて参加者に啓発。</li> <li>・母と子のつどいにて，タバコに関する健康だより(5月号)，がん予防に関する健康だより(9月号)配布</li> </ul> <p>・<b>保育園，小学校への喫煙防止教育デジタル紙芝居貸し出し(千葉県から喫煙防止教育用教材として活用依頼)</b></p> <p>3 禁煙サポート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>薬剤師会，民間企業と協力し，ニコチンパッチ体験事業実施(10月1日～10月31日)</b></li> <li>・<b>慈恵柏病院の公開講座(肺がんテーマ)にて啓発チラシ配布。</b></li> </ul> <p>※啓発方法として，柏市メール配信サービスを利用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>利用者へ禁煙のメリットや禁煙方法，市内禁煙外来一覧の情報を発信，禁煙体験後にアンケート実施</b></li> </ul> <p>4 受動喫煙防止対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>飲食店店頭における禁煙・分煙ステッカーの配布を柏商工会議所等の民間団体と連携して推進中</b></li> <li>・<b>緊急雇用促進事業を利用して市内飲食店個別依頼(約1,000店舗)</b></li> </ul> <p>5 子宮頸がんワクチン接種緊急促進事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学1年から高校1年生まで対象（高2も一部含む）</li> </ul> <p>6 学校関係研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>保健主事・養護教諭対象の研修会において，学校における健康教育に関する研修を実施</b></li> </ul> <p>7 広報等における啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健所だよりを発行(7, 11, 1月)。がん検診，マンモグラフィー，がんサポートハンドブック，塩分摂取について等を掲載。町会回覧，HP，メール配信サービス，近隣センター配架等にて啓発。</li> <li>・広報(4, 5月)で禁煙・分煙ステッカー，がん検診啓発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校での普及啓発 申込のあった学校のみで実施しており，こども達全員への直接啓発にはいたっていない。</li> <li>・禁煙サポート事業実施後のアンケートから，禁煙補助剤と引き換えできる店舗の拡大及び禁煙補助剤の補助期間延長の声寄せられた。禁煙治療に要する期間が通常約3ヶ月であり，3日分の禁煙補助による効果をあまり感じることができていない。</li> <li>・受動喫煙防止対策 登録事業者をどのように拡大していくかが課題。「喫煙可能」店舗用のステッカーを作成し，店頭表示依頼することも視野に入れ推進していく。</li> </ul>



	対策の視点	長期目標 平成22～26年度	今年度の進捗状況	次年度予定・課題
<p>● 検診・早期発見</p>	<p>○がん検診の必要性及び正しい受け方についての効果的な啓発 ○がん検診の受診率向上のための効果的な取り組み ○質の高いがん検診の実施 ○検診から診療への確実な橋渡し</p>	<p>1 検診精度, 登録制度のあり方の検討 2 職域健診におけるがん検診の受診率の向上に向けた働きかけと連携の促進</p>	<p>1 受診率向上のための取り組み (1) 特定健診と結核・肺がん検診の同日実施を昨年度の6回から10回に拡大して実施。実施会場は中央保健センター及び沼南保健センターとする。 ・登録制度のあり方を検討するため, 全国の中核市(船橋市, 政令市(7市))に検診申し込み状況に関するアンケートを実施。結果を<b>分析評価</b>。 (2) 普及啓発活動の強化 ・結核肺がん検診未登録者の65歳の者に対し個別通知を行い結核の予防及び結核肺がん検診受診勧奨を行う。 ・関係部署(地域健康づくり課, 保険年金課, 福祉活動推進課), 関係機関(柏市医師会)との連携による普及啓発活動を実施。 ・<b>柏市ノースモツ子作戦出張講座にてがん予防に関する啓発活動を実施。がん予防の情報を伝え, 各種がん検診一覧の記載のあるチラシを配布。中学校3校, 小学校6校で実施。</b> ・<b>幼児健診(1歳6か月児・3歳児)において, 啓発活動を実施。実施後のまとめを今年度中に行う予定。母と子のつどいにおいてもがん検診啓発チラシと登録はがきを配布。</b> ・慈恵医大柏病院, 国立がん研究センター東病院の公開講座において, がん検診登録はがき, 啓発リーフレットを配布。 ・<b>国立がん研究センター東病院の医療連携室窓口にごん検診登録申込書を設置。</b> (3) がん検診推進事業の実施 ・当該事業の対象がん検診として, 乳, 子宮, 大腸がん検診の3種類。(乳がん, 子宮がん無料検診は4年目, 大腸がん無料検診は2年目。) ・実施期間中に, 対象がん無料検診未受診者へ受診勧奨個別通知を実施。 (4) <b>モデル地域(西原地域, 酒井根地域)に対し, 重点的な普及啓発活動を実施。柏市医師会, ふるさと協議会等関係機関と調整をとり実施。</b> ・11月に西原地域, 酒井根地域の文化祭において, がん予防をテーマとしたブースを出展。乳がん自己触診モデルの設置, パネルの展示(乳がん自己触診, 喫煙後の肺の状態), 大腸がん検診で使用する採便容器の展示, 胃がん検診で使用するバリウムと発泡剤の展示, 肺機能検査の実施, がん予防に関する啓発物の配布, がん検診登録受付を行う。また, 利用者にはアンケートを実施し, 分析評価。 ・2月に酒井根地域, 3月に西原地域において医師会医師を講師とした健康講座を実施予定。 2 精密検査未受診者への受診結果把握, 受診勧奨 検診結果郵送後, 約4ヶ月経過しても結果報告がない対象者に対して, 個人通知及び電話による受診結果の把握及び受診勧奨を定期的実施中。 3 健康診査情報の提供 ・新20歳, 30歳, 40歳に到達する市民へ登録勧奨の個別通知実施。 ・4月以降転入者に対する個別通知実施。 ・がん検診推進事業対象者(子宮がん対象の20～35歳)のうち, がん検診未登録者に登録申込書を実施通知に同封。 ・ポスター, リーフレットの掲示, 配布・・・公共施設, 市内医療機関, 一部商業施設, 市内幼稚園, 保育園 等。<b>今年度は新たに商工会議所青年部と連携をとる。</b> ・特定健診通知文に各自のがん検診登録状況, 登録の案内を掲載。</p>	<p>・全ての内容において, 次年度も実施する予定。</p> <p>西原, 酒井根地域の取り組みは2カ年を予定しているため25年度も引き続き実施する。2年間の事業評価を実施し, 今後は広域的に広げていく。</p>



		<ul style="list-style-type: none"><li>・ 広報，ホームページにがん検診について記事を掲載。電子申請による登録申し込みを推進。</li></ul> <p>4 精度管理向上</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 子宮がん検診の液状化検体導入に関して，委託先のちば県民保健予防財団と情報交換を行う。また，柏市医師会との協議をすすめる。</li><li>・ 子宮がん検診においてモデル事業として，HPV検査も併せて実施。3ヵ年実施予定。</li><li>・ 柏市医師会担当理事と検診実施前後及び実施中，必要に応じて相談，協議。</li></ul> <p>平成25年度に子宮がん（個別）検診においても研究としてのHPV検査導入について柏市医師会と協議中。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 検診実施前後に検査機関，事務委託機関（医療センター）との検討会の実施。検診実施中も必要に応じて相談，協議。</li></ul>	
--	--	--	--

	対策の視点	長期目標 平成22～26年度	今年度の進捗状況	次年度予定・課題
<p>●治療から緩和ケアまで</p>	<p>○緩和ケアを含むがん医療に関する医療機関等の連携強化 ○市民に分かりやすいがんに関する相談支援・情報提供の体制の整備 ○在宅医療の提供体制整備に向けた検討（在宅療養を担う地域資源の支援・在宅療養を担う関係者間の連携の強化等）</p>	<p>医療連携及び在宅療養推進のための体制整備（特に在宅医療・療養に関わる職種への情報提供、研修、相談支援機能を持つ窓口の整備）</p>	<p>1 関係機関との協働                      ・「柏市がんネットワーク連絡会」を5月・8月・11月・2月、計4回開催予定（がん診療連携拠点病院、行政担当者）                      （※5月22日：23年度実績報告および24年度活動計画の共有、重点的な取り組みについての意見交換）                      （※8月30日：活動状況報告、連携した取り組み検討、意見交換）                      （※11月27日：活動状況報告、働く世代の相談支援の現状の共有化、意見交換）                      （※2月26日：活動状況報告、意見交換等（予定））</p> <p>2 相談体制の整備                      ・がんサポートハンドブックを増刷。医療機関、歯科医院、薬局、訪問看護ステーション、地域包括支援センター等を通じ、患者や家族に配布                      ・10月11日・12日に医療・介護専門職対象のグリーフケア研修会開催、参加者数43名（延べ84（医師、看護師、理学療法士、歯科衛生士、介護支援専門員、介護福祉士、ヘルパー、養護教諭の参加あり）</p> <p>3 啓発活動                      ・がん診療連携拠点病院主催のがん市民公開講座の後援および周知協力  <b>（9月8日の慈恵医大柏病院：講師調整を保健所の協力を得て行う、柏市のがん検診の資料を当日配</b>  <b>（10月20日の国立がん研究センター東病院：柏市のがん検診の資料を当日配布）</b></p> <p>4 在宅医療の体制整備                      豊四季台地域高齢社会総合研究会（市・東大・UR）において、在宅医療委員会を設置し、「いつまでも在宅で安心して暮らせるための医療・看護・介護サービスのあり方」を検討。                      ・上記委員会連携WGにおいて、医師会始め医療・看護・介護の関係団体が集まり、在宅医療を推進するための多職種による連携の方策についての検討を実施                      （4/25・5/28・7/3・8/21・10/2・12/4・1/21・3/5、計8回）                      ・上記委員会試行WGにおいて、在宅医療における多職種の負担軽減の方策として、「主治医-副主治医制度」「多職種連携の仕組みづくり」「情報共有システムの整備」を、具体の症例により試行実施。                      （24年12月現在20症例を試行実施）                      ⇒がん末期患者の症例を通じて、多職種連携によるがん末期における在宅療養支援のあり方についても評価検討を実施。                      ・在宅医療を担う多職種の連携の強化を図るために、「顔の見える関係会議」を実施。                      （6/21・9/26・11/28・2/6、計4回）                      ・在宅医療の推進及び多職種連携の促進を目的とした「在宅医療研修」を、医師会始め関係団体と協働で実施。                      （1/26・27に開催予定）                      ・在宅医療の相談・啓発及び、多職種チーム編成を行う機能として、「地域医療拠点」を26年初旬に豊四季台地域に設置予定。</p> <p>5 介護保険 要介護認定について（末期がん）                      ・すみやかに在宅等で介護保険サービスが利用できるよう、認定調査日を調整。                      ・認定審査資料が整い次第、直近の審査会にて、審査を実施。</p>	<p>・市内関係部署および関係機関との連携による個別相談支援の充実                      ・がんネットワーク連絡会の定期的な開催による医療連携推進とがん対策全般の検討の場としての効果的な活用</p> <p>・引き続き、在宅医療の仕組み作りを、関係団体との連携により行う。                      ・連携WG、顔の見える関係会議、在宅医療研修を、24年度と同様に開催する。                      ・地域医療拠点の開設に向けた調整・準備を進める。</p> <p>来年度も同様に実施</p>

平成24年度 がん対策進捗状況

※ 太字は新規取り組み, 又は他部署, 関係機関との連携を記載

	対策の視点	長期目標 平成22～26年度	今年度の進捗状況	次年度予定・課題
●地域相互支援	<p>○家族・一般市民へのがんに関する啓発</p> <p>○在宅介護に携わるボランティアの育成・支援</p> <p>○患者同士の自助グループ支援</p>	<p>がん患者を支えるサポートグループ情報について集約し, 市内の総合相談等で情報共有し, 市民に情報提供できるしくみづくり</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 千葉県内の患者会情報の集約</li> <li>2 市民への啓発・情報提供               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 【再掲】小中学校での普及啓発(柏市ノースモッ子作戦出張講座)</li> <li>(2) 【再掲】母子保健事業でのタバコ対策に関する普及啓発</li> <li>(3) 【再掲】幼児健診, 母と子のつどいにおいて, がん検診啓発活動を実施</li> <li>(4) 【再掲】がん診療連携拠点病院主催のがん市民公開講座の後援および周知協力</li> <li>(5) 【再掲】がんサポートハンドブックを増刷。医療機関, 歯科医院, 薬局, 訪問看護ステーション, 地域包括支援センター等を通じ, 患者や家族に配布</li> </ol> </li> <li>3 ボランティア育成               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 【再掲】10月11日・12日に医療・介護専門職対象のグリーンケア研修会開催</li> </ol> </li> </ol>	<p>・引き続き, 関係機関と連携・協力し, 取り組む</p>
●その他			<ol style="list-style-type: none"> <li>1 <b>6月議会にて報告</b></li> <li>2 視察受入れ               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4月26日 島根県出雲市議員</li> <li>・ 7月13日 滋賀県湖南市</li> <li>・ 9月 3日 広島県呉市議員</li> <li>・ 1月31日 愛知県岡崎市議員</li> </ul> </li> <li>3 柏市健康増進計画               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保健衛生審議会専門分科会にて策定検討 (①6/28, ②8/23, ③10/9, ④10/25, ⑤1/31計5回)</li> </ul> </li> <li>4 柏市保健衛生審議会へ報告               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第1回 平成24年11月1日, 第2回 平成25年2月14日(本日)</li> </ul> </li> <li>5 庁内関係課との連携               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 柏市がん対策検討会議を5, 9, 11, 3月に実施(予定含む)</li> <li>・ <b>3月の会議では, 千葉県がん対策推進計画との連携を視野に入れ, 千葉県健康福祉部健康づくり支援課職員を招聘。計画について理解を深める機会を設定。</b></li> </ul> </li> <li>6 東葛北部地域保健医療協議会(1月10日) 千葉県より, 千葉県がん対策推進計画(案) について説明有</li> </ol>	<p>引き続き庁内における情報共有とネットワークづくりを継続</p>